



■第三章

■受験生の心の内

1. 偏差値についての感じ方

頑張れば偏差値は上がる

偏差値はいまや進学指導とは切っても切れないほどの密接な関係になってしまった。

ここ数年、偏差値をもとにした進学指導に対する批判は年々増してはきているが、その便利さと正確さから、多くの中学校では、従来通り相変わらず使われているようである。

したがって、生徒たちも偏差値に対する見方にはよく慣れており、よく知っている。偏差値の変化には非常に敏感で、たとえ少しの変動に対しても一喜一憂している様子を見かけることも多い。

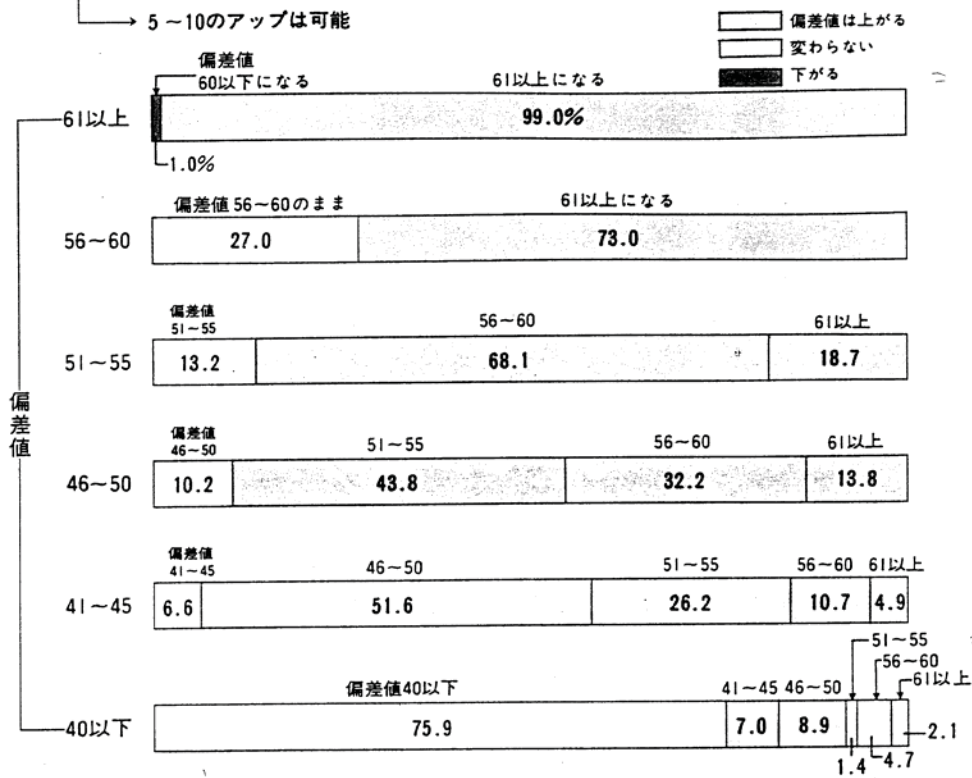
では、このように高校の合格予想を立てる

ために重要な意味を持っている偏差値について、いったい生徒たちはどのような受けとめ方をしているのだろうか。まず図11を参考に、生徒たちの心の内を探してみたい。

図11は、自分の現在の偏差値をもとに、「頑張ればどれだけ上げられるのか。」また、「怠ければどれくらいまで下がってしまうのか」を、偏差値の段階ごとにまとめ、その傾向を調べたものである。

偏差値を上げるのが、いかにむずかしく大変なことであるかは、教師ならおそらく全員が知っている事実であろう。まして、偏差値を5~10上げるなどは並大抵の努力では期しがたい難事であろう。

<図11> 頑張れば、どれくらい偏差値を上げられるか



<図12>

6

偏差値

しかし、図中の数値が示すように、これ以上の偏差値の上がりそうにないトップ層と、偏差値が40以下の生徒を除くと、7割以上の生徒が、頑張りさえすれば、偏差値を5~10くらい上げるのは可能だと信じている。特に、偏差値が41~55の生徒たちの9割が、頑張れば、偏差値はかならず上がると信じているのが注目される。

偏差値が上がると信じているのは、生徒たちが成績の前途をあきらめていないことを示すので望ましいと思う反面、偏差値を上げるということに、安易な気持ちを抱いているのではと気がかりになる。

生徒たちは、どうして、このような楽観的な受けとめ方ができるのだろうか。

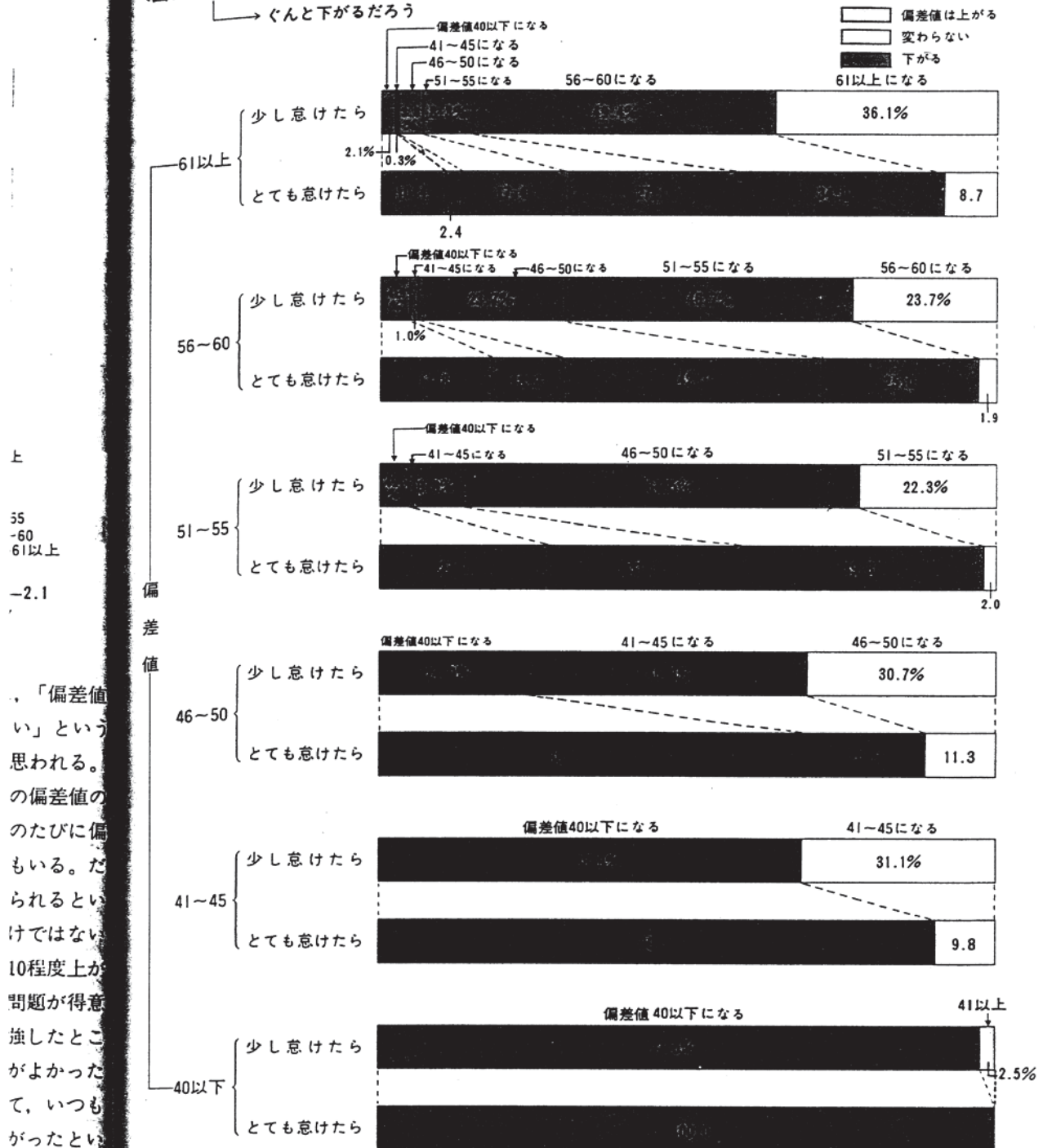
まず、第1に考えられることは、「偏差値がそう簡単に上げられるものでない」ということを知らないからではないかと思われる。

たしかに、偏差値50前後の生徒の偏差値の変動は大きいことが多い。テストのたびに偏差値が5~10と上下している生徒もいる。だから少し頑張れば、5~10は上げられるという気持ちになるのも分からないわけではない。

このような生徒の偏差値が5~10程度上がった場合は、たまたまそのテスト問題が得意な分野であったとか、ちょうど勉強したところが出ていたなどといった単に運がよかったにすぎないことが多い。したがって、いつも安定した実力の偏差値として5上がったというのとは全く質がちがうのである。

〈図12〉 勉強を怠けたら偏差値はどうか

→ ぐんと下がるだろう



「偏差値低い」という
思われる。
の偏差値の
のたびに偏
もいる。だ
られるとい
けではない
10程度上が
問題が得意
強したとこ
がよかった
て、いつも
がったとい

第2には、ふだん担任教師などから「きみは、やればまだ偏差値を伸ばせるよ」などと激励されている言葉を信じて、頑張れば自分だけはまだ偏差値が伸びるのではないかと考えているふしを感じられる。

さらに、「自分はこれだけ頑張っているんだから、きっとこれから偏差値が伸びていくに違いない」、「今までは、あまりやらないから低かったが、もし、やれば当然偏差値は今より伸びるはずだ」などといった仮定の上に立った願望が出ているからではないかと思われる。

しかし、そうした反面、**偏差値40以下の生徒**の中で、「もうれつに頑張ったら、偏差値を上げられる」と答えたのは、たったの**24%**にすぎず、偏差値41以上の生徒たちの**93%**と比べて、大きな開きが認められるのが気になる。

いったい何が原因で偏差値40以下の生徒がこのように意欲を失ってしまったのだろうか。

これについては、いろいろな見方がなりたとうが、偏差値40以下の生徒は、残念ながら、応用力はおろか基礎学力さえも大幅に欠けていることが多い。これでは、相当な努力を重

ねても、学力がなかなか身につけにくい。その結果、いくらやっても偏差値が上がらないという挫折感を持ってしまい、意欲を失うことになってしまったことが考えられる。

怠ればすぐに 偏差値が下がる

このように、多くの生徒たちは、頑張れば偏差値を上げることができると思っている。それならば、「少し怠けた」場合はどうか。

図12が示すように、怠けても、今の偏差値を保てると思っている生徒は3割前後にすぎない。そして、半数近くは、偏差値は5～10程度は下がるだろうと思っている。そして、「とても怠けたら」、さらに、偏差値がもっと下がるという見方である。

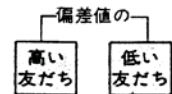
図11、図12を重ね合わせると、偏差値についての生徒たちの気持ちが、おのずと明らかになるように思える。つまり、頑張れば、偏差値を上げることはできる。しかし、怠ければ、すぐに下がってしまう。つまり、**偏差値の高低は、学習に対する努力の反映という見方**である。

生徒
志望校
ば、彼
のだろ
そこ
と「高
者の未
り、そ
どれく
たので
が、彼
なら、
までの
とがて
来も糸
単なる
結身
繁雑な
り」に
約す

きにくい。それが上がらない意欲を失うことになる。

2. 偏差値は未来を規定するか

社会生活に関連を持つ



生徒たちは、そうした偏差値を基準にして、志望校を決める生活を送っている。それならば、彼らは、偏差値の意味をどう考えているのだろうか。

そこで、生徒たちに、「偏差値の高い友だち」と「高くない友だち」を想定してもらい、両者の未来を予測してもらうことにした。つまり、そうした形で、偏差値が、将来の生活をどれくらい規定していると思うのかをたずねたのである。換言するなら、かりに、偏差値が、将来に影響を及ぼさないと考えているのなら、偏差値が低くとも、それは、高校受験までの問題で、それから先の話は別と思うことができる。しかし、偏差値の影響力が、将来も続くと考えているなら、偏差値の高低は、単なる高校入試の手段とはいいがなくなる。

結果は、図13に示した通りだが、グラフが繁雑なので分かりやすく、「きっと」、「かなり」そうなるに注目して、グラフの内容を要約すると、以下の通りとなる。

① 良い大学へ入学できる……64% > 5%
 ② 職業上の高い地位につく……45% > 7%
 ③ たくさんの収入を得る……44% > 7%
 ④ 社会的な尊敬を得る……21% > 11%
 ⑤ 良い人と結婚する……15% < 17%
 ⑥ 良い家庭を築く……14% < 19%
 ⑦ 人々から親しまれる……14% < 22%

つまり、偏差値の高い低いは、大学進学から就職、そして、昇進など、社会生活に関係することは否定できない。しかし、結婚や家庭生活については、偏差値は関連しない。というより、むしろ、家庭生活を送るためには、偏差値の高さや低さには関係がないと考えているようである。

高い偏差値を保つためには、人の倍する努力が必要であろう。良い大学に入り、社会的に活躍するためには、そうした努力する態度を保つことが不可欠だとしても、家庭生活を送るのに、もう少し、人間味があった方がよいと考えたのであろうか。

いずれにせよ、生徒たちは、偏差値が、自分の人生をかなり左右すると信じて、高校進学に臨んでいる。それだけに、偏差値が伸び悩むと、高校進学だけでなく、自分の未来も閉ざされていると感じる可能性が強い。そう考えてくると、進学を控えた生徒たちの心の中を、挫折感やらあせりがよぎるのではないかという気持ちが強まってくる。

- ① 良い大学へ入学できる……64% > 5%
- ② 職業上の高い地位につく……45% > 7%
- ③ たくさんの収入を得る……44% > 7%
- ④ 社会的な尊敬を得る……21% > 11%
- ⑤ 良い人と結婚する……15% < 17%
- ⑥ 良い家庭を築く……14% < 19%
- ⑦ 人々から親しまれる……14% < 22%

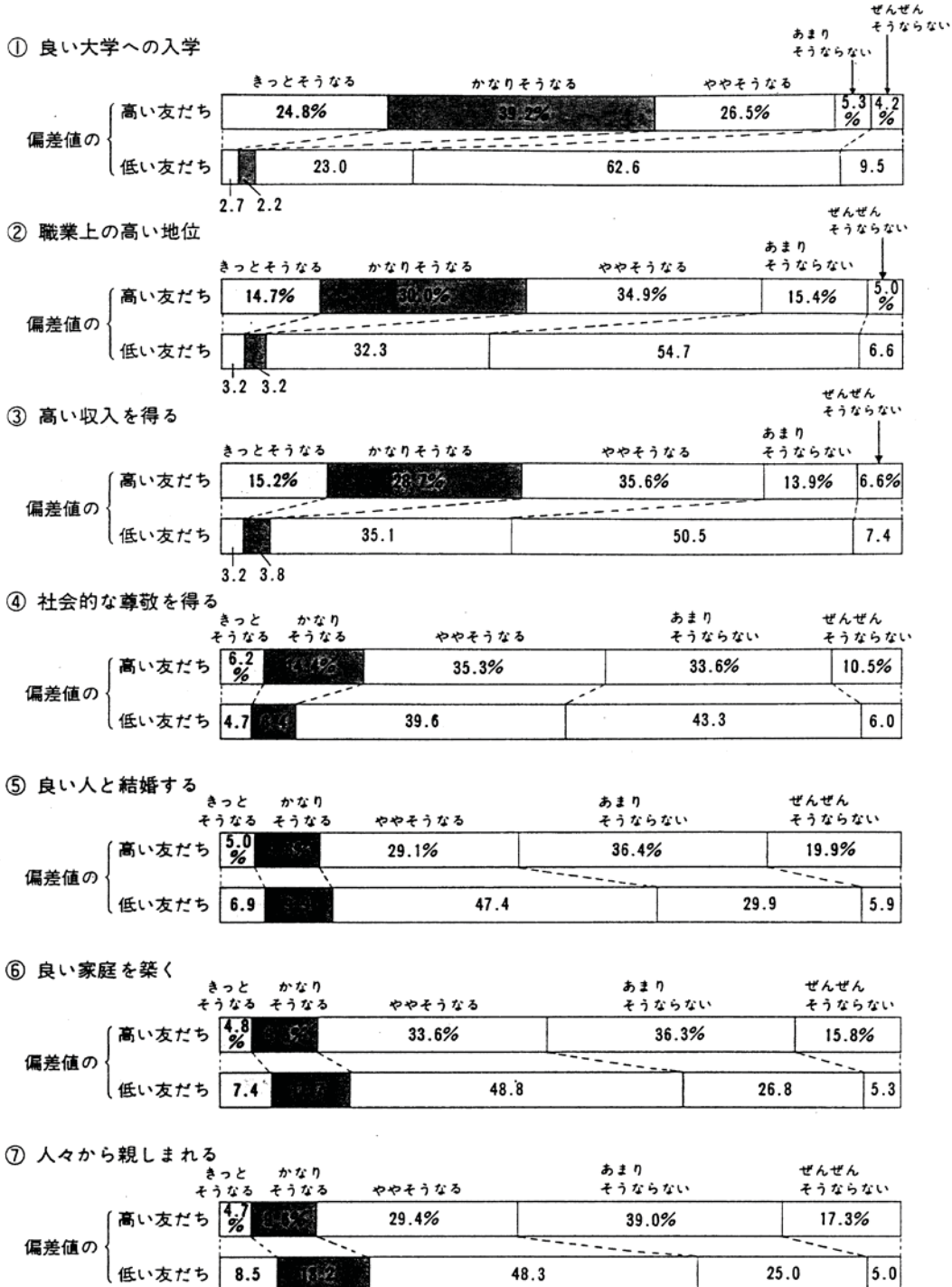
つまり、偏差値の高い低いは、大学進学から就職、そして、昇進など、社会生活に関係することは否定できない。しかし、結婚や家庭生活については、偏差値は関連しない。というより、むしろ、家庭生活を送るためには、偏差値の高さや低さには関係がないと考えているようである。

高い偏差値を保つためには、人の倍する努力が必要であろう。良い大学に入り、社会的に活躍するためには、そうした努力する態度を保つことが不可欠だとしても、家庭生活を送るのに、もう少し、人間味があった方がよいと考えたのであろうか。

いずれにせよ、生徒たちは、偏差値が、自分の人生をかなり左右すると信じて、高校進学に臨んでいる。それだけに、偏差値が伸び悩むと、高校進学だけでなく、自分の未来も閉ざされていると感じる可能性が強い。そう考えてくると、進学を控えた生徒たちの心の中を、挫折感やらあせりがよぎるのではないかという気持ちが強まってくる。

〈図13〉 偏差値は未来を規定するか

→ 偏差値が高ければ未来は明るい



3. 不安感の高まり

(表8) 勉強への集中度
 ↳ 気持ちを集中できない



	あ る		な い	
	よ く	ときどき	ほとんど	ぜんぜん
勉強を始めても気持ちがのらないことが	48.2	41.3	7.4	3.1
勉強を始めると筆記用具をいじったり、机の周りの整理をしたくなる	25.8	46.8	16.4	11.0
問題集を開いても受験のことが気になり、勉強に集中できないことが	13.2	37.6	34.7	14.5
今、自分が使っている問題集や参考書などでは、ほんとうの実力がつかないように思うことが	10.8	37.3	40.2	11.7

気持ちを集中できないが9割

調査時点の10月下旬から11月中旬にかけては、受験生にとって、正念場となる。12月上旬の期末テストで内申書の見通しがつくとなれば、家庭学習にも熱が入ろう。

しかし、表8によると、「勉強を始めても気持ちがのらないことがある」「勉強を始めても、筆記用具をいじったり、机の周りの整理をしたりする」生徒が7割を越える。また「勉強に集中できない」、「参考書が自分に合っていないのでは」などの悩みを抱えている生徒も半数に達する。

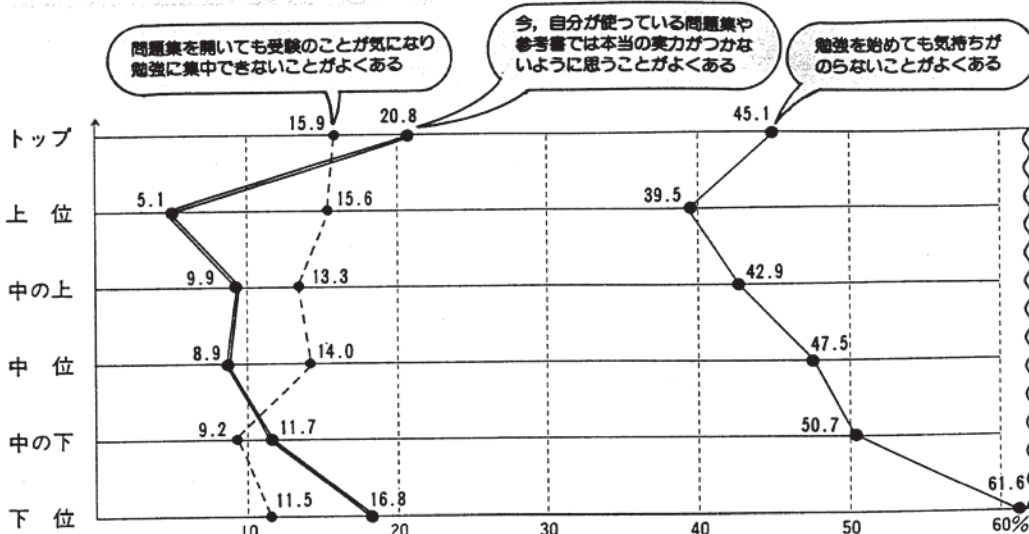
受験へのストレスが高まるにつれて、能率よく効果的な勉強をしたいと思う。でも、そうした気持ちが先回りをして、能率の悪さだけが、気がかりとなる。受験には、そうした

心の動きがつきものだが、表中の数値も、生徒たちが不安感にさいなまれていることを示している。特に、図14から明らかのように、そうした不安を感じているのは、成績が「中下」あるいは「下位」の生徒に限らず、トップ層にも見受けられる。下位は下位で、そして、中位は中位なりに、さらに、トップ層もそのレベルに応じて、受験競争を展開しており、その中では、難関をめざすトップ層よりは、上層の方が、志望する高校の門が広いだけにやや精神的に安定しているのかもしれない。しかし、成績が「上位」の生徒でも、40%は、「気持ちがのらないことがよくある」と答えている。そうした意味では、11月に入ると、生徒たちの間にあせりの気持ちが強まり、落ちついた感じで、勉強に取り組めないでいるともいえよう。

<図14> 集中度×成績

→どの成績の生徒も不安感を持つ

勉強への集中度と成績との相関関係



「2学期になって気持ちがあせてきたのか日常生活におちつきがなくなってきている。気持ちばかりあせて、集中力がない。勉強をしても、テレビが気になったりする。ちゃんと計画どおりできるか心配だ。おれは馬鹿やから、高校に入れるか分からない。一生懸命勉強しているつもりだけど、高校に入れるか落ちるか悩んでいる」(T男)

これは9月のT男の作文の一部。彼は下の方の成績に位置していた。ところが、教師からみると「この子が」と思いたくなるほどの成績上位者でも、T男と同じように、いわゆる「スベリ止め」の学校にも合格できないのではと不安を訴える生徒も少なくない。

事実、「自分は全部不合格になるのではと心配になることがありますか」の問いに対して、

自分は全部不合格になるのではと心配になることが

- | | | |
|-----------|-------|---------|
| 1. よくある | 28.3% | } 71.3% |
| 2. ときどきある | 43.0% | |
| 3. ほとんどない | 20.6% | } 28.7% |
| 4. ぜんぜんない | 8.1% | |

のような結果が得られている。

しかも、そうした「心配になる」割合を、学業成績のランク別に集計してみると、

下位	39.6%	トップ	25.4%
中の下	35.2%	中の上	23.7%
中位	26.1%	上位	14.9%

の通りとなる。

たしかに、現在の高校受験は、入れてあたりまえで、落ちると恥ずかしいというような側面も持つ。それだけに、かえって、慢性的な疲労感や緊張感が強まってくる。

(表9) 受験生の気分

↳ スカッとすることをしたい

	あ る		な い	
	よ く	ときどき	ほとんど	ぜんぜん
スポーツや自分の趣味に、思いっきり打ち込んでみたいと思うことが	★46.6	36.2	13.0	4.2
もう一度、小学校時代へ逆もどりしたいと思うことが	★38.4	32.0	16.5	13.1
受験なんかどうなってもよいと勉強のことを全部忘れたいと思うことが	31.3	★35.4	24.9	8.4
どこかだれも知らない遠くへ旅などをしてみたいと思うことが	★35.5	30.1	22.3	12.1
最近、以前よりムツとしたり、カッとすることが	21.3	★37.4	32.2	9.1
朝起きて、学校へ行きたくないと思うことが	16.5	30.4	★32.4	20.7

★印は各項の最大値

疲労感の高まり

加えて、2学期に入ると、部活動がどんなにさかんな学校でも、中3は引退し、受験勉強に専念する体制に入る。そういう要素が作用してか、「最近食欲がへった」と思っている生徒は、

よくある……………6.5% } 28.6%
 ときどきある……………22.1% }
 ほとんどない……………38.6% } 71.4%
 ぜんぜんない……………32.8% }

のように、「ときどきある」を含めると、3割近くにのぼっているし、「胃や腸の調子がよくないと感じる」割合も

よくある……………13.5% } 40.5%
 ときどきある……………27.0% }
 ほとんどない……………33.0% } 59.5%
 ぜんぜんない……………26.5% }

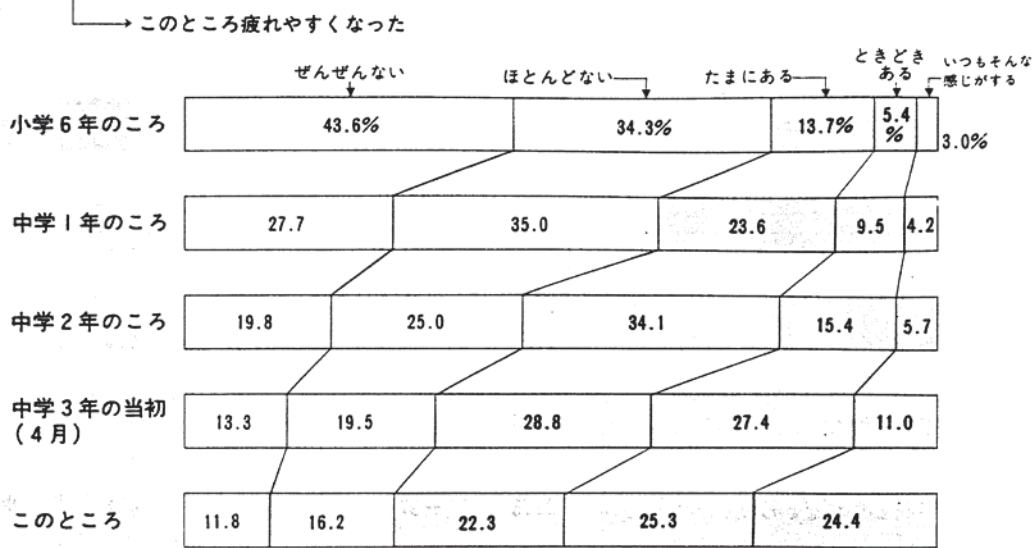
の通りである。

11月に入ると、腹痛を訴えて、保健室の世話になる生徒がふえる。また、授業中でも、「先生、ちょっと、保健室へ行ってきてもよいですか」と、腹を押さえながら、席を立つ生徒を見かける。そうした印象は、われわれ教師の主観的な判断なのかと思っていたが、上記の結果は、体調をこわしている生徒が、この時期に予想外に多いことを暗示している。

こうした体調の他にも、表9に掲げたように、「受験のことなど、忘れたい」、「以前より、カッとしたりすることがふえた」、「どこか遠くへ旅をしてみたい」など、精神的な不安定さを訴える生徒の割合も、予想をはるかに上回るものであった。

こうした生徒たちの疲労感を、学年別に跡づけてみると、図15の通りとなる。小学6年生のころは、疲れなど知らなかった。しかし、

〈図15〉 疲労感の推移



(中学3年の10月下旬~11月中旬)

中2になると、「疲れているなあ」と思う生徒が2割近くになり、中3では4割、なかでも中3の2学期では5割という変化である。

受験には、ストレスがつきものである。そして、見方によれば、子どもが成長する過程で、ある程度、ストレスを経験することも必要のように思われる。しかし、それも、程度の問題であろう。上記の数値が、そうした限界を越えているかどうかは、かならずしも、明確でないが、中学3年生全体の中で、「どこかだれも知らない遠くへ旅をしてみたい」と感じている生徒が66%に達している事実は、やはり、心を重くする数値である。高校受験はやむをえないとしても、もう少し、ストレスをへらす方法はないかというのが、率直な感想である。

友は信頼している

そうした暗さを感じさせるデータの中で、

「友だちが成績が下がって悲しがっているのを見ると、なんとなく、ホッと安心した気持ちになる」について、

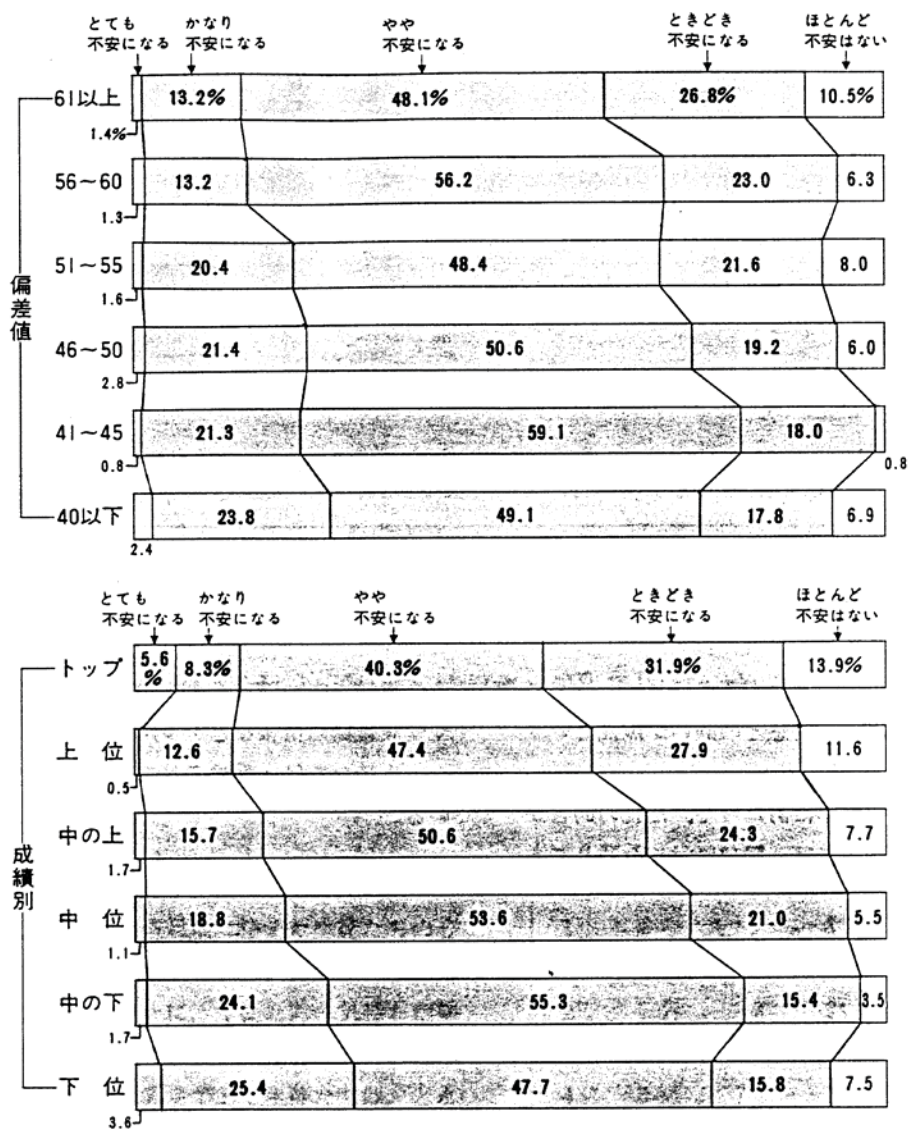
- 1. よくある..... 7.7%
 - 2. ときどきある..... 23.6%
 - 3. ほとんどない..... 42.0%
 - 4. ぜんぜんない..... 26.7%
- } 31.3%
} 68.7%

と、他人の不幸を喜ぶ生徒が3割にとどまったのは——それでも多いという見方もできるが——クラスのだれかをけ落とさないと、偏差値の上がらない現状の受験制度のもとでは、生徒たちに健全さが残っている証拠のように思え、心強い気持ちでした。

中3の担任をしてみると、意外にも集団における人間関係では暖かいクラスに恵まれる場合がある。教科ごとに生徒の中から「小先生」を選出し、その「小先生」を中心に勉強会を開いたクラス。学習班が模擬試験を作成、全員がそれに取り組む中で学力向上をめざした中学3年生。成績下位者を助けようと「居

〈図16〉 入学できる学校がないのではという不安

↳どのランクの生徒もそうした不安を持つ



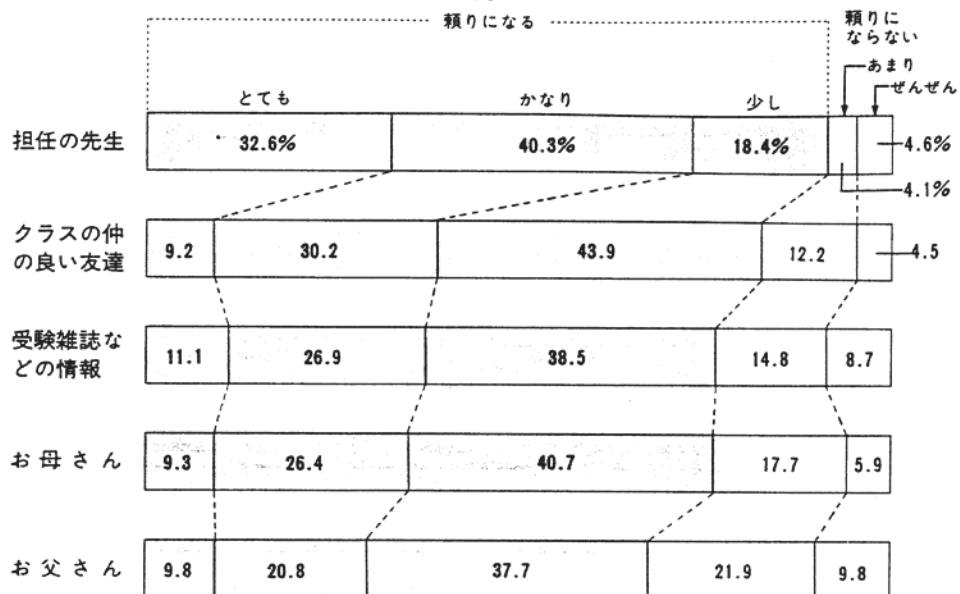
残り勉強会」を放課後に設置した受験直前の子どもたち。どの中学3年生もそれぞれに个性的であり集団を大切にしながら向上していった。

そうした形で、教師が指導性を発揮すれば、

生徒たちの心の負担は、幾分か緩和できるように思われる。しかし、いずれにせよ、図16に示したように、「入るところがない」不安を感じている生徒は、偏差値や学業成績に関係なく、広い層に及んでいる。こうしたデー

〈図17〉 高校進学で役に立つ人

→ 担任の助言がいちばん役立つ



夕を手にしていると、中3の11月は、勉強に打ち込む前に、不安感との闘いが焦点という気がする。
 ．なお、高校進学にあたって、だれの助言が役立つかについては、図17に示した通りであ

る。担任を中心に、クラスの友だちとの雑談や受験雑誌の情報などを多角的に活用しながら、生徒たちは、受験の日を迎えようとしている。



■ 第IV章 ————— ■ 高校受験をどうしたらよいか

1. 生徒たちの望む受験のあり方

内申とテストは半々

今まで、受験を目前に控えた生徒たちの心の内を探ってきた。そして、予想以上に、あるいは、必要以上に、生徒たちの気持ちが揺れ動いているありさまを紹介してきた。

それでは、当事者である生徒たちは、どんな選抜方法が望ましいと考えているのだろうか。まず、「本番のテスト」と「内申書の成績」との割合については、

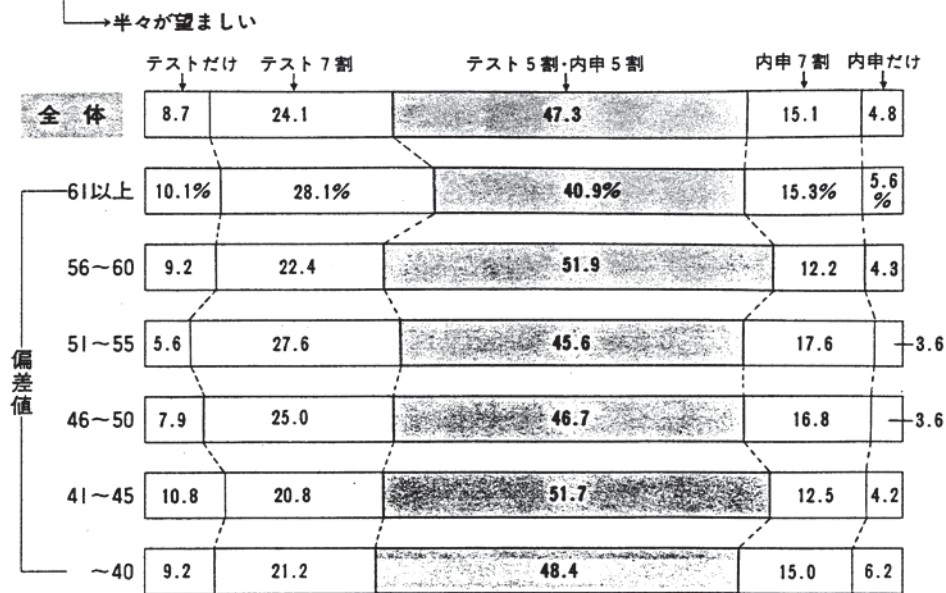
— どの選抜方法が望ましいか —

1. 本番のテストのみ…8.7%	} 32.8%
(本番テスト) : (内申書) 2. 7割 : 3割……24.1%	
3. 半分 : 半分……47.3%	} 19.9%
4. 3割 : 7割……15.1%	
5. 内申書のみ……4.8%	

の通り、テストと内申とが半々という現行の制度——多くの県で施行されている——を支持する者が多い。そして「内申書の重視」に賛成する生徒は2割にとどまっている。

そして図18のように、テストと内申とが半

〈図18〉 テストと内申との比率



々の制度を支持する生徒は、偏差値に関係なく、幅広い層に及んでいる。もっとも、生徒たちは、日ごろ学校生活で「内申書にひびくことを意識する」ことが、

- 1. いつもある……11.4%
 - 2. ときどきある……36.2%
 - 3. たまにある……37.7%
 - 4. ぜんぜんない……14.7%
- } 85.3%

と答えており、内申書を意識することがまれではない。それだけに、内申書の比重が高まりすぎるのを敬遠したいのであろう。

事実、図19に掲げたように、程度の差こそあれ、「悪い内申をつけられたらどうしよう」と不安になると反応した生徒は、4分の3に達している。

したがって、内申書の比率が高まりすぎるのは好ましくない。そうかといって、テストだけというのは、こわい感じがする。そうしたところから、すでにふれたように、内申と

テストとが半々が望ましいという判断に達したのであろう。

—内申書の望ましい内容は—

- 1. 成績のみ記載……8.8%
- 2. 成績と学校での生活状況……30.5%
- 3. 成績・学校での生活状況
・クラブや生徒会の活動……60.7%

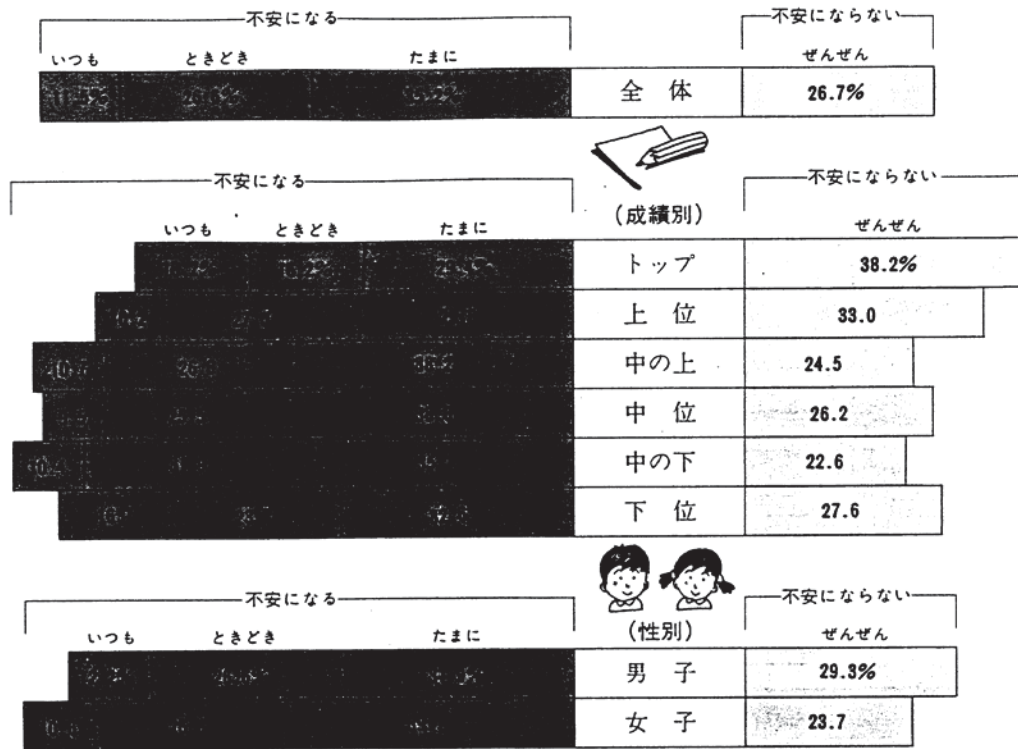
のように、同じ内申書を作るのなら、クラブや生徒会などを含めた生活全体を対象にして欲しいという声が多い。また、内申書に記載する成績の範囲は、

—内申書の成績はいつのものがよいか—

- 1. 中3になってから……30.5%
- 2. 中1から中3の2学期……46.9%
- 3. 中2から中3の2学期……22.6%

〈図19〉 悪い内申をつけられたらどうしようと不安になることがあるか

↳どの生徒も不安を感じている



と、中1からがほぼ半数、中3のみが3割、中2からが2割強と、意見が三分される傾向を示した。

面接はにが手

図20は、試験科目についての生徒たちの反応である。負担が大きくかかる9教科案に賛成する生徒は、さすがに7%にとどまっているが、3教科と5教科については、意見が、ほぼ二分されている。そうした中で、学力の高い生徒は、総合的に得点を得られると思うためか、5教科案に賛成する割合が高い。また、理科の得意な生徒が多いためであろうが、

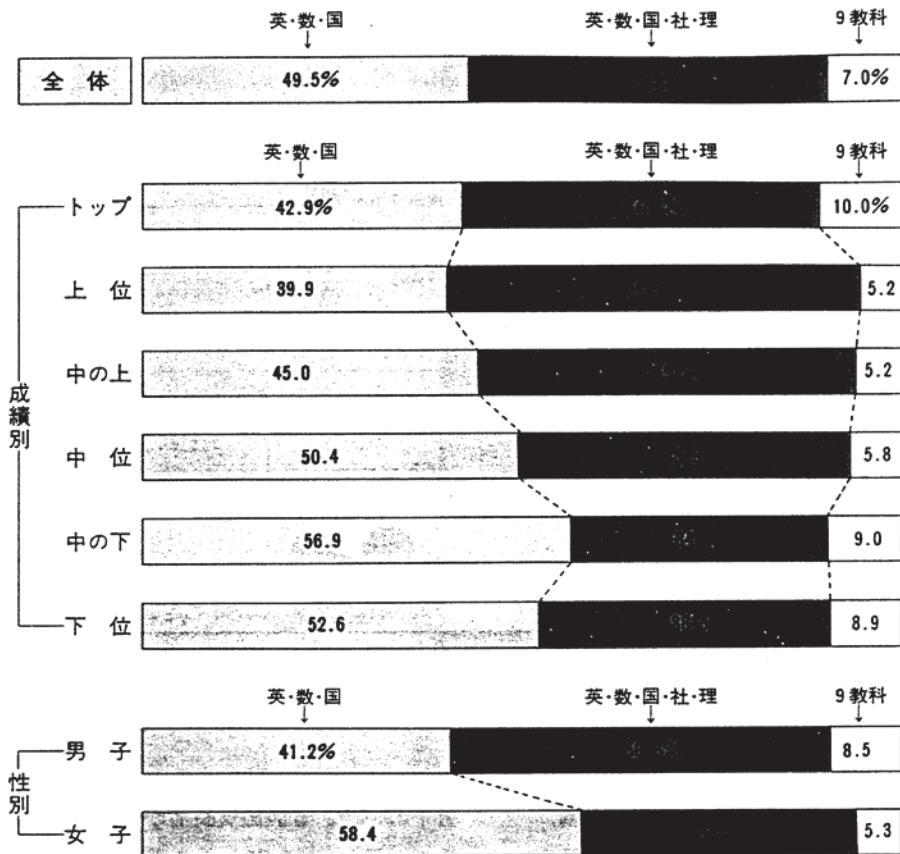
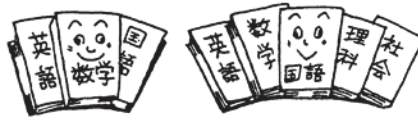
男子の中で、5教科支持者が半数に達しているのが目につく。

なお、このところ、面接試験の活用に着目する傾向が生まれてきているが、生徒たちは偏差値や成績、性別に関係なく、3人の内2人の割合で、面接試験を加えるのに反対している。(図21)

面接は、たしかに、気の重い試験だし、性格が内向的で、うまく生かせないと思っている生徒も多かろう。また、敬語や礼儀作法などにも気を使わねばならない。そうした重荷が面接試験は反対という声となって現われたのであろう。

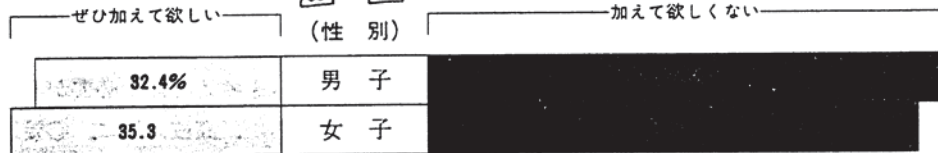
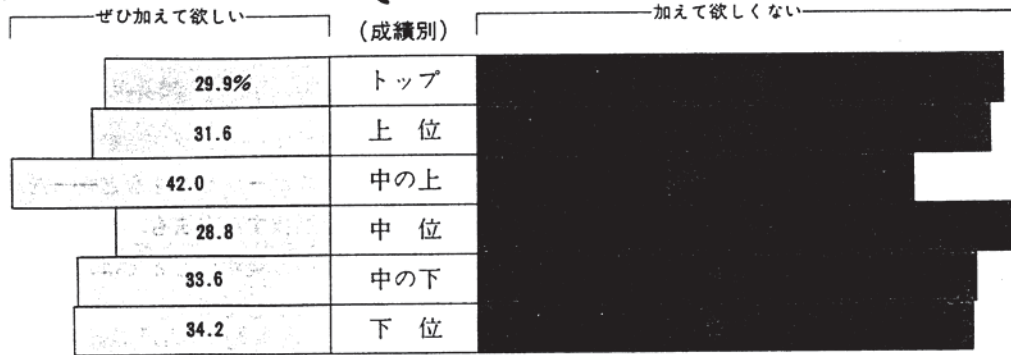
〈図20〉 試験科目

→ 3教科と5教科とが半々



<図21> 面接試験

→加えて欲しくないが3分の2



2. 若干の提案

ここらで、データの紹介は閉じることとし、こうした結果を手がかりとしながら、高校受験をどうしたらよいかについて、若干の考察を試みることにしたい。

入試制度をどうすべきかは、どのレベルで問題をとらえるかによって、答えが異なってくる。理想的な形を描くなら、現行の6・3・3制の代わりに、4・4・4制の学校制度の導入もひとつの試みであろう。

現在では、中学へ入り、慣れるのに1年かかる。そして中学2年を終えると、すぐに受験が始まるというあんばいで、かけ足で、中学時代を過ごす。そして、そうした状況は、高校時代にもあてはまる。さらに、小学校の場合、近年の子どもたちの成長加速現象が顕著なので小1と小6の子どもを、同じ校舎内で教育するのが無理になりつつある。したがって、子どもたちの発達に合わせ、ゆとりを持った学校生活を送らせるために、4・4・4制の学校制度の導入が望ましいと考えられる。しかし、制度改革を短期間に望むのは不可能に近いから、急場に間に合いそうもない。

また、高校教育が完全就学に近い現在の状況を見ると、完全な小学区制を採用し、高校を小・中学と同じようにみなおすのも、ひとつの方法となろう。しかし、私立高校の同調を得にくい状況——また、私立が同調するのが望ましいとはいえない——を視野に置くと、東京の学校群制のようにかえって、入試を混迷に導く可能性が強い。

さらにいえば、学校制度は、いずれかの段

階で、子どもたちの個性や適性に対応した個別化を行わねばならない。したがって、いたずらに、すべての生徒に、12年間にわたって、同一の教育を与えるのが望ましいとはいえないように思える。

また、欧米の大学入試で見受けられるような、複数の尺度——クラブ活動や地域活動、勤労体験、スポーツや文才など——を利用して、生徒を選抜する方法も、大学ですら実施できないでいる現状のもとでは、高校入試に望みがたい気がしてくる。

こう考えてくると、高校入試に特效薬を見出しにくい感想を抱く。したがって、制度改定や入試の抜本的な検討などは、長いスパンの中で視野に置くこととし、それと平行して、具体策を考えておく必要があろう。

生徒たちが、高校入試に、必要以上の不安感を覚えていたのは、すでに紹介した通りだが、そうした気持ちをやわらげるために、具体例をあげるなら、以下のような試みや指導の仕方が必要となろう。

1. 入試の内容について

① 内申書は中3のみとする。中1から、内申の対象とするから、入試が慢性化してくる。中2までは、のんびりさせ、中3からでも間に合うように、特に、成績の記載は、中3のみが望ましかろう。

② 3教科にしぼる。記憶をする範囲は少ない方が望ましい。特に、試験科目を、いわゆる道具教科に限定した方が、記憶した内容が将来に役立つように思われる。

③ 小論文や適性検査などを加え、試験の内容に幅を持たせる。このほか、体育や美術などの実技を加えるなども考えられよう。いずれにせよ、知的教科以外の科目を加え、多様な選抜の仕方を検討するのが望ましい。

④ 高校の自主性を認める。ある高校は、推薦を中心に、他の高校は3教科、そして別の高校は、内申書とテストを半々のように、高校の自主性を認めてはどうであろうか。画一的な入試のあり方が、高校入試を激化させたように思われてならない。

2. 先生方に

① 生徒たちを励まそう。生徒たちの中で自信を失い、迷っている者が多い。所詮、どこかの高校へ入れるのであるから、結果と切り離して、勉強をしようと努力している態度をほめ、励ましてやりたい。しかるより、ほめることで、生徒たちに自信を植えつけたいのである。

② 進学の意味を考えさせよう。生徒たちは、目先の進学に目を奪われている。したが

って、何のための進学かが分かっていない。生徒の個性や適性を見出し、そうした進路へ進むために、どこそこの高校へ行くのが大切だと、将来の生き方との関連で、進学の意味をとらえてやろう。

3. 親たちに

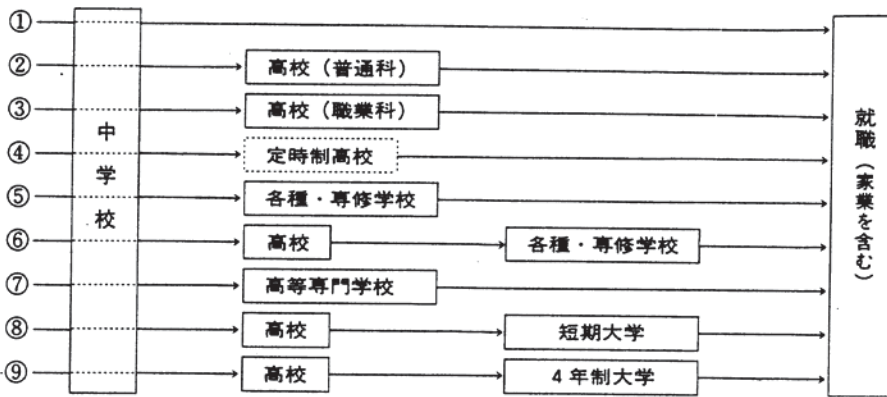
① 高校間の差は少ない。子どもたちの入る高校は、一定の枠内の選択で、考えるほどの開きはない。むしろ、無理をして、1ランク上の高校へ入り、学力不振に悩むより、1ランク下の高校に入り、自信を持って、学校生活を送る方が、将来のためにプラスになる場合が少なくない。

② 長い一生を視野に入れよう。高校入試のあとに、大学入試が始まる。そして、大学卒業後も、知識の獲得に努めねばならないのが現代である。そうした意味では、高校入試に全力を注ぐのは、スパートのかけすぎの感をぬぐいがたい。したがって、子どもの一生を視野に入れて、もう少し、距離を置いた形で、高校入試をみつめる必要があろう。

調査票見本

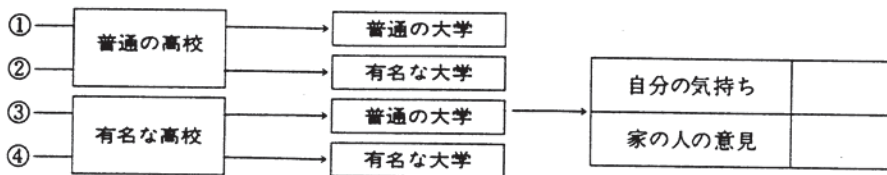
① あなたは…………… (男子・女子) (どちらかに○をつけてください。)
 () 中学校

② (a) あなたは、中学校を卒業してから次のどのコースを進むつもりですか。また、あなたの家の人の意見はどうですか。番号で教えてください。



自分の気持ち	
家の人の意見	

(b) ⑨を選んだ人は、さらに次のことについて番号で教えてください。



③ (a) あなたは、現在、どんな中学生活を送っていますか。

- とても かなり やや ふつう やや あまり ぜんぜん
 楽しい 楽しい 楽しい ぐらい 楽しくない 楽しくない 楽しくない
- ① 授業を聞いている時…………… 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7
 ② 友だちとの関係…………… 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7
 ③ 部活(課外クラブ)…………… 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7
 ④ 先生との関係…………… 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7
 ⑤ 学校へ通うのが…………… 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7

(b)あなたは、現在、高校進学(または就職)をひかえた生活を送っています。仮りに望み通りの高校へ入れたら、どんな生活を送れそうですか。あてはまるところに○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------|--------------------|---------------------|----------------------|
| | とても
楽しい
だろう | かなり
楽しい
だろう | やや
楽しい
だろう | ふつう
ぐらい | やや
楽しくない
だろう | あまり
楽しく
ないだろう | ぜんぜん
楽しく
ないだろう |
| ① 授業を聞いている時..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ② 友だちとの関係..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ③ 部活(課外クラブ)..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ④ 先生との関係..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ⑤ 学校へ通うのが..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

4 高校へ進学できたら、次のようなことに使う時間はどうなると思いますか。

- | | | | | | | | |
|-------------------|------------|------------|-----------|-------------|----------|-----------|-----------|
| | とても
ふえる | かなり
ふえる | やや
ふえる | 今と
かわらない | やや
へる | かなり
へる | とても
へる |
| ① テレビを見る時間..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ② 勉強をする時間..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ③ 友だちと話をする時間..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ④ 本を読む時間..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ⑤ 部活(課外クラブ)..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ⑥ 眠る時間..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

5 それでは、仮りに、大学へ進んだとしたら、時間の使い方はどうなると思いますか。

- | | | | | | | | |
|-------------------|------------|------------|-----------|-------------|----------|-----------|-----------|
| | とても
ふえる | かなり
ふえる | やや
ふえる | 今と
かわらない | やや
へる | かなり
へる | とても
へる |
| ① テレビを見る時間..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ② 勉強をする時間..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ③ 友だちと話をする時間..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ④ 本を読む時間..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ⑤ 部活(課外クラブ)..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ⑥ 眠る時間..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

6 進学には偏差値がつきものですが、あなたの偏差値はだいたいどれくらいですか。

- | | | |
|--------------------|----------------------|-------------|
| | 偏差値が | |
| ① 今のだいたいの偏差値は | <input type="text"/> | ぐらい |
| ② これから先、もうれつに頑張ったら | <input type="text"/> | ぐらいまで上がるだろう |
| ③ すこしなまけたら | <input type="text"/> | ぐらいまで下がるだろう |
| ④ とてもなまけたら | <input type="text"/> | ぐらいまで下がるだろう |

調査票見本

7 それでは、今考えている高校へ入学できたら、あなたの人生はどのようになると思いますか。

- | | ぜったい
かないそう | かなり
かないそう | まあ
無理だろう | ぜったい
無理だろう |
|-------------------------|---------------|--------------|-------------|---------------|
| ① これ希望する大学への進学が..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② これ希望する仕事につくのが..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 社会的に尊敬される人になることが..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 高い収入を得ることが..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 良い相手と結婚することが..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 良い家庭人となることが..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

8 「良い高校」「悪い高校」という言葉を耳にすることが多いようです。それでは、「良い高校」という言葉に、あなたはどんな学校を思いうかべますか。

- | | とても
思う | 少し
思う | なんとも
いえない | あまり
思わない | まったく
思わない |
|--|-----------|----------|--------------|-------------|--------------|
| ① 校舎や運動場などの施設や設備が整っている高校 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 勉強に熱心な人が多く、たくさんの人が大学に進学している高校 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 規則を守り、生活のきちんとしている生徒の多い高校 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ その学校の卒業生の多くが良い仕事についている高校 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ スポーツや芸能などで、世間的に名がうれている高校 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 入学時の偏差値が高く、入るのがむずかしい高校 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ 宗教的な信念によって教育しているとか、建学の精神がしっかりしているような高校 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ 大学にそのまま入れるような高校 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

9 今、あなたは、家へ帰ってから平均してどれくらいの時間、勉強していますか。平日、土曜、日曜に分けて考えてください。

- ① 平日..... 時間 分ぐらい
- ② 土曜..... 時間 分ぐらい
- ③ 日曜..... 時間 分ぐらい

10 それでは、小学5～6年生の頃、平日はどれくらい勉強していたと思いますか。次の①～⑥のそれぞれに平日の場合を思いうかべて、家庭で勉強した時間を書いてください。

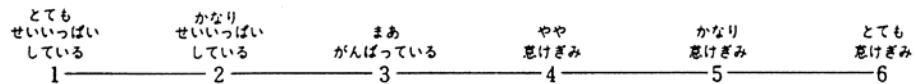
- ① 小学5～6年生の頃..... 時間 分ぐらい
- ② 中学1年生の始め頃..... 時間 分ぐらい
- ③ 中学1年生の10月頃..... 時間 分ぐらい
- ④ 中学2年生の始め頃..... 時間 分ぐらい
- ⑤ 中学2年生の10月頃..... 時間 分ぐらい
- ⑥ 中学3年生の始め頃..... 時間 分ぐらい

11 あなたは、現在、何時頃寝ていますか。

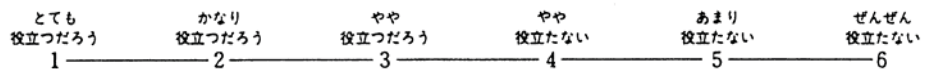
- ① 寝る時間..... 午前
午後 時頃
- ② 睡眠時間.....平均に 時間 分ぐらい



12 あなたは、現在、自分自身としては、せいっぱい勉強していると思っていますか。



13 今、勉強している内容を覚えていると、大人になってからの生活に役立つと思いますか。



調査票見本

14 入学試験の勉強についておたずねします。あてはまるところに○をつけてください。

- ① 高校合格のための勉強は、学校の授業をきちんと受けていれば、家庭であまり勉強をしなくても大丈夫だと思いますか。
- ぜったい大丈夫だと思う 1 — 2 — 3 — 4 — 5
 だいたい大丈夫だと思う 2
 分からない 3
 少し不足すると思う 4
 ぜったい不足すると思う 5
- ② それでは、学校の授業をまじめに受け、参考書などできちんと勉強すれば、塾などへ通わなくても高校へ入れると思いますか。
- ぜったい入れる 1 — 2 — 3 — 4 — 5
 だいたい入れる 2
 分からない 3
 たぶん入れない 4
 ぜったい入れない 5
- ③ あなたの学校では、どのくらいの人が塾へ行ったり、家庭教師についていると思いますか。
- 80%以上 1 — 2 — 3 — 4 — 5
 60%以上 2
 半分ぐらい 3
 40%ぐらい 4
 20%以下 5
- ④ 塾へ行ったり、家庭教師についての方が進学に有利だと思いますか。
- ぜったい有利である 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6
 かなり有利である 2
 やや有利である 3
 たいして有利でない 4
 まったく有利でない 5
 分からない 6
- ⑤ あなたは、学習塾か予備校へ通っていますか。
1. 通っていない
 2. 通っている → 週 日

15 あなたが、いちばん入りたいと思っている高校は、あなたの実力からみてどの程度の高校ですか。

- 実力よりかなり上の高校 1 — 2 — 3 — 4
 ちょっと上の高校 2
 実力と合った高校 3
 わりと素に入れる高校 4

16 進学する高校を決める時に、次のようなことをどれくらい大事に考えますか。

- ① あの学校は、良い学校だとか悪い学校だとかの世間の評判
- とても大事に考える 1 — 2 — 3 — 4 — 5
 かなり大事に考える 2
 少し大事に考える 3
 あまり大事に考えない 4
 ぜんぜん大事に考えない 5
- ② 家から通学するのに、近いか遠いかの通学距離の問題
- 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ③ 自分の好きなスポーツなどが、さかんに行われているかどうか
- 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ④ 校舎の立派さや校庭の広さ、設備の良さなど
- 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑤ 大学の付属校であるとか、有名大学に入るのが有利だとかの問題
- 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑥ 普通科か、商業科かという勉強する内容
- 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑦ 男女共学か、男女別学の学校か
- 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑧ 公立校か、私立校か
- 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑨ 服装や髪型などの生活上の規則がきびしいかどうか
- 1 — 2 — 3 — 4 — 5

17 受験する高校を選ぶ時に、次の人たちの意見や情報はどれくらい頼りになると考えていますか。

	とても 頼りに なる	かなり 頼りに なる	少し 頼りに なる	あまり 頼りに ならない	ぜんぜん 頼りに ならない
① お父さん.....	1	2	3	4	5
② お母さん.....	1	2	3	4	5
③ 担任の先生.....	1	2	3	4	5
④ クラスの仲の良い友だち.....	1	2	3	4	5
⑤ 受験雑誌などの情報.....	1	2	3	4	5

18 高校入試には、いろいろな形が考えられます。そこで入試の仕方についておたずねします。

(a)入試では、内申書の成績と本番のテストの結果をどのような割合でみて、合否を決めたらよいと思いますか。番号で教えてください。

	本番の テストの成績	内申書の成績
①.....	本番のみ	なし
②.....	7割ぐらい	3割ぐらい
③.....	半分	半分
④.....	3割ぐらい	7割ぐらい
⑤.....	本番なし	内申書の成績だけ

} →

(b)入試選抜に使われる内申書の内容として、次のどれがよいと思いますか。

1. 成績だけを記入する
2. 成績と日常の学校での生活状況
3. 成績と日常の学校での生活状況・クラブや生徒会での活動記録

(c)入試の教科としては、いくつがよいと思いますか。

1. 英、数、国の3教科
2. 英、数、国、社、理の5教科
3. 9教科全部



(d)内申書の成績は、いつのものを記入したらよいと思いますか。

1. 中学1年生から中学3年生の2学期まで
2. 中学2年生から中学3年生の2学期まで
3. 中学3年生になってからの成績

(e)入試に面接試験を加えることをどう考えますか → 1. ぜひ加えて欲しい
 2. 加えて欲しくない

調査票見本

19 あなたの家庭やご両親についておたずねします。

(a)あなたのご両親は高校進学について、どの程度の期待を持っていますか。

あなたの実力より ずっと上の高校へ 入るのを 期待している	すこし上の 高校へ 入るのを 期待している	実力相当の 高校へ 入るのを 期待している	あまり 期待して いない
1	2	3	4

(b)あなたに対するご両親の期待は、あなたの重荷になっていますか。

とても 重荷に なっている	かなり 重荷に なっている	あまり 重荷に なっていない	ぜんぜん 重荷に なっていない
1	2	3	4

(c)あなたの家の人は、あなたの受験について、どの程度の気を配っていますか。

とても 気を配っ ている	かなり 気を配っ ている	あまり 気を配っ ていない	ぜんぜん 気を配っ ていない
1	2	3	4



20 内申書についておたずねします。

(a)日頃の学校生活で、「内申書にひびく。」— 良い面でも悪い面でも—ことを意識することがありますか。

いつも ある	ときどき ある	たまに ある	ぜんぜん ない
1	2	3	4

(b)「自分に不利になるような内申書を先生につけられたらどうしよう」と不安に思うことがありますか。

いつも ある	ときどき ある	たまに ある	ぜんぜん ない
1	2	3	4

21 偏差値の高い友だちがいたとします。その人は、将来どんな生活を送れると思いますか。

- | | きっと
そうなる | かなり
そうなる | やや
そうなる | あまり
そう
ならない | ぜんぜん
そう
ならない |
|---------------------|-------------|-------------|------------|-------------------|--------------------|
| ① 良い大学へ入れる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 職業上、高い地位につける…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 社会的に尊敬される…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 良い人と結婚できる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 人々から親しまれる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 良い家庭を築ける…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ たくさんの収入を得られる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

22 それでは、偏差値があまり高くない友だちがいたとします。その人は、将来どんな生活を送れると思いますか。

- | | きっと
そうなる | かなり
そうなる | やや
そうなる | あまり
そう
ならない | ぜんぜん
そう
ならない |
|---------------------|-------------|-------------|------------|-------------------|--------------------|
| ① 良い大学へ入れる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 職業上、高い地位につける…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 社会的に尊敬される…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 良い人と結婚できる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 人々から親しまれる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 良い家庭を築ける…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ たくさんの収入を得られる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

23 あなたは、次のような気持ちになることがどれくらいありますか。

- | | よく
ある | ときどき
ある | ほとんど
ない | ぜんぜん
ない |
|--|----------|------------|------------|------------|
| ① テレビを見ていても、なんとなくつまらないことが…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 最近、食欲がへったと思うことが…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 勉強を始めても、気持ちがのらないことが…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 食事をしたり、家族と団らんをしている時、
何となく落ちつかない気持ちになることが…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

調査票見本

⑤	問題集を開いていても受験のことが気になり、勉強に集中できないことが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑥	勉強を始めると筆記用具をいじったり、机の周りの整理をしたくなるのが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑦	最近、以前よりムツとしたり、カッとすることが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑧	スポーツや自分の趣味に、思いっきり打ち込んでみたいと思うことが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑨	今、自分が使っている問題集や参考書などでは本当の実力がつかないように思うことが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑩	受験なんかどうなってもよいと勉強のことを全部忘れてなくなるのが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑪	三者面談(自分・親・先生)でどんなことを言われるかを考え、心配になることが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑫	自分は、全部不合格になるのではないかと心配でならないことが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑬	友だちが成績が下がって悲しんでいるのを見ると、なんとなくホッと安心する気持ちになることが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑭	受験のことを考えると、夜寝つかれないことが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑮	どこかだれも知らない遠くへ旅などをしてみたいと思うことが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑯	もう一度、小学校時代へ逆もどりしたいと思うことが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑰	胃や腸の調子がよくないと感じるのが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4
⑱	朝起きて、学校へ行きたくないと思うことが	よくある 1	ときどきある 2	ほとんどない 3	ぜんぜんない 4

24 あなたは、今、学校の授業をどの程度理解できていると思いますか。各教科ごとに、あてはまるところに○をつけてください。

- | | 100%理解
できている | 70%くらい
理解できて
いる | 半分くらい
理解できて
いる | 30%くらいしか
理解できて
いない | ほとんど
理解できて
いない |
|---------|-----------------|-----------------------|----------------------|--------------------------|----------------------|
| ① 英語の授業 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 数学の授業 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 国語の授業 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 理科の授業 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 社会の授業 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

25 あなたの勉強の成績はどれくらいですか。

- | | トップの方 | 上ぐらい | 中の上
ぐらい | 中ぐらい | 中の下
ぐらい | 下の方 |
|------|-------|------|------------|------|------------|-----|
| ① 英語 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ② 数学 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ③ 国語 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

26 朝起きた時「疲れているなあ」と思うことがありますか。小学6年生の頃を思い出して答えてください。

- | | ぜんぜん
ない | ほとんど
ない | たまに
ある | ときどき
ある | いつも
そんな感じがする |
|------------------|------------|------------|-----------|------------|-----------------|
| ① 小学6年生の頃 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 中学1年生の頃 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 中学2年生の頃 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 中学3年生にな
った頃 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ このところ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

(これで終わりです。長い間どうもありがとう。)

「おっ、ホームズ家では こんな隠し味を使っていたのか。」

単語ひとつだけで、知識はぐんと広がります。

「シャーロック・ホームズ家の料理読本」など読んでいると

ホームズ家の名料理人、ハドソン夫人の秘けつはどうもスバライしい。

で、「オックスフォード・カラー英和大辞典」を見てみれば、

ペパーミント、パセリ、セイジ、などのイラストが載っていて、他の植物までわかってしまう。

「オックスフォード・カラー英和大辞典」は、あらゆる分野にわたってイラストや写真がいっぱい。

見ながら英語を理解できます。各図版には百科事典的な解説もあって、

今までの辞書とは全く違う感じ。

言葉がいささか伝わって、英語はひとさわ身近になりました。



外国の料理は、香料をたくさん使う。そこで、

aromatic [arə'mætɪk] *adj.* 1 芳香のある、こうばしい (fragrant, spicy) ● 2 【化】芳香族炭化水素の：ベンゼンなどのように炭素が六員環を構成する有機化合物についていう。—— *n.* 芳香のある植物；芳香剤、香料。

aromatic plant / 芳香植物 セージは常緑の耐寒性植物で、葉はスパイスに用いる。タイムは全草がよい香りを持つ。ペパーミントから採るペパーミント油は製菓や歯磨きの香料に用いる。メキシカンオレンジは常緑低木でよく果をつける。

お申し込み・お問い合わせは全国の書店へ。●詳しい資料のご請求は、書店または〒100-91 東京中央郵便局私書箱228号 福武書店「オックスフォード・カラー英和大辞典」営業部まで。

- 4,000点にも及ぶイラスト写真を満載した日本で初めてのオールカラーの英和辞典。
 - 自然科学から芸術まで、必要なところには解説も加えて百科事典の機能も備えています。
 - オックスフォード系辞典の流れを継承すると共に、日本の読者のためにさらに内容を充実。
 - 日本語義の後は()でその英語相当語句を挿入した本格的な双解方式。
- 全8巻/A4型/オールカラー/収録語数約70,000語/収録写真・図版約4,000点/各巻平均280頁/上製本箱入/9月全巻完結

FUKUTAKE OXFORD ILLUSTRATED English-Japanese DICTIONARY



定価各巻4,300円

<全8巻・34,400円>

オックスフォード・カラー英和大辞典 全8巻 第3巻好評発売中

福武書店 会社案内

■社是

われわれは、教育・文化産業を通して社会に貢献することを誇りとし、この仕事を伸ばすことに生甲斐と強い使命感をもつ。

われわれは社会正義に徹し、夢と若さと愛情を合言葉として、常によりよいものを求める姿勢で社業の発展に全力をつくす。

■事業部案内

通信教育部

●高校通信教育部

高校生を対象に、受験と進路情報の「進研ゼミ」高校講座を行っています。また、進研新聞を企画発行しています。

●中学通信教育部

中学生を対象に、通信教育による学力増進のための「進研ゼミ」中学講座を行っています。また、進研ニュース・中学版を企画発行しています。

●小学通信教育部

個性豊かな小さい芽を大切に育てたい。小学生に基礎学力をつけ、将来伸びる能力をつける個別対応の通信教育講座です。

福武書店の文芸書・既刊案内

潮の道草

あるがままの老いの性を描き独特の境地に到達した老人文学の秀作集。

13000円

麦笛

女流最新鋭が重い主題を強靱な構想力で描いた著者初の書き下ろし長篇。

12000円

悲劇のように

宙を舞うように都会の片隅に生きる男の孤独の心情を描く俊英の秀作集。

11000円

地の乳房

亡き母堂をモデルに、激動の明治・大正を生きたる女の半生を描く長篇。

各10000円

空虚としての主題

現代小説を深部から解説し、文学状況を本質的に把握する初の文芸時評。

12000円

戦後その光と闇

戦後文学の代表的作家が、今日の問題意識から改めて回想するエッセイ集。

15000円

私の平安文学

平安女流文学を彩った物語・日記・和歌の心を現代に紡ぐ本格的エッセイ。

14000円

女と男のいる映画

映画の空には閃く天使の影がある……尖锐な批評が光る初の映画評論集。

15000円

私の好きな古典の女たち

王朝文学の作者とヒロインを現代作家の眼で捉え深い読解力を示すエッセイ。

9800円

記録を記録する

テレビなどのドキュメンタリーが落とした事実を問い直す異色のルポ論。

12000円

散文の基本

短篇小説の名手が、自己の文章観小説観を率直に表明した最新エッセイ集。

20000円

玉貫 寛

増田みず子

村松友視

水上 勉

吉本隆明

野間 宏

竹西寛子

飯島耕一

瀬戸内晴美

黒井千次

阿部 昭

東京都千代田区九段南4-8-8/電話・東京(03)230-2131/攝警口座・東京6-105097

テスト学参本部

●高校部

模擬試験（進研模試）の実施、および大学受験用問題集、進研ニュース（進学情報紙）を企画発行しています。

●中学部

中学生を対象とした学力評価テスト、各種副読本、学習参考書、問題集を発行しています。

●学参部

中学・高校生を対象とした学習参考書、問題集を企画発行しています。

●手帳部

全国の中学・高校で、学校生活に必携の「生徒手帳」製作を行っています。

書籍本部

●書籍編集部

「福原麟太郎随想全集」全8巻などの個人全集、一般教養図書、学術図書、絵本、児童書などを刊行しています。

●OID編集部

カラフルで楽しく読める、辞典と事典の要素を備えた「オックスフォード・カラー英和大辞典」(全8巻)を刊行しています。

●文芸部

文芸雑誌「海燕」(月刊)及び文芸書(月平均2点)を刊行しています。